

地域で生きる

障がい福祉課 ☎(235)4813
☎(233)5731



社会福祉法人 星谷会
カフェはみんぐ チーフ
林 由希子さん



市内の障がい者施設では、地域との共生を目的に、カフェの運営や製品販売、サロンの開催などさまざまな取り組みを行っています。
ことし5月、上今泉の障害者支援センター内にオープンした「カフェはみんぐ」と、開校3年目を迎えた「県立えびな支援学校」の「地域との関わり」を紹介します。

相鉄線かしわ台駅から徒歩約10分。北部公園前の「カフェはみんぐ」(以下、はみんぐ)は障害者支援センターあきば(以下、あきば)に併設するカフェです。チーフの林さんに話を聞きました。

居心地の良い空間を

「はみんぐ」は、「地域でほっと一息つけるところ」がコンセプト。店名には「ハミング」したくなるほど居心地の良い空間に」という願いが込められています。

野菜はJAのグリーンセンター、コーヒーは障がい者施設のほか市内で焙煎しているお店で調達しています。新鮮な地場産野菜を地域の方にもお勧めしたくて、地域の生産者に協力してもらい10月からは店内で野菜の定期販売も始めたんですよ。

意欲ある7人と一緒に

近くには北部公園や体育館、小学校があるので人通りも多く、お客さまのほとんどが地域の方です。ご近所さん同士のお茶会や、散歩ついでや運動帰りの方、お子さん連れの方など客層はさまざまです。「カフェができたのを知って、ずっと気になっていたので」という方が実際に足を運んでくれた時はうれしかったですね。

オープン当初、一緒に働くあきばの通所者は4人だったのですが、「ユニフォームを着てみたい」「い

らっしゃいませを言ってみたい」という声をくみ取っていたら7人になりました。配置は、ホールとキッチンで1人ずつ、午前・午後のローテーション勤務です。できること・できないことが個々にあるので、状況を見て私たち職員がサポートしています。

が変わってきた「自信が付いたみたい」などの声を聞くようになりました。こういう声を聞くと、チーフとして「ここでもっと何かをしたい。みんなで盛り上げたい」という励みになりますね。

どのイベントも増やして、いろいろなジャンルの方との交流機会も増やしたいと思っています。ぜひ「はみんぐ」に足を運んでください。



⑥ランチタイムで混み合う店内 ⑦毎月第2・4週に行う地場産野菜の販売



働く7人と地域の方の交流が私の励み

お店を通じて地域の方と関わりを持つようになってからは、職員や通所者の家族から「楽しそう」「表情

オープンして約7カ月。常連さんも10人くらいになりましたが、地域に定着するにはもう少し時間がかかりそうです。今後は、つながりのある他の障がい者施設の七宝焼き作品をここで展示する予定です。また、ワークショップやミニコンサートな



カフェ はみんぐ ☎上今泉6-11-20 ☎(240)0775 ☎(240)0768 ⑩10時～15時(第2(水)は13時まで) ⑪(土)日(祝)

ここでも来店お待ちしております!

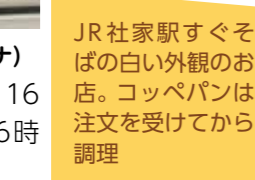
パン・製菓の販売施設など

障がいのある方が働く市内の店舗や事業所の中で、パン・製菓の製造・販売をする施設の一部を紹介します。ぜひご利用ください。

自家製のコッペパン専門店



パン・製菓販売
PANBEENA(パンビーナ)
☎社家185-2 ☎(237)1116 (SELPビナ) ⑩10時～16時 ⑪(日)月(祝)臨時休業あり



JR社家駅すぐそばの白い外観のお店。コッペパンは注文を受けてから調理

地域に根差したベーカリーショップ



パン販売
はあとすまいる
☎今里2-16-1エスポワール1階 ☎(232)8810 ⑩11時～15時 ⑪(日)臨時休業あり



店内には種類豊富なパンが並び。市役所、総合福祉会館などで出張販売も

市役所にある喫茶店

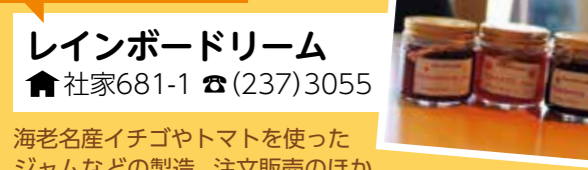


喫茶店
ともしびショップ ぱれっと
☎勝瀬175-1(市役所1階) ☎(231)2111(代表) ⑩9時30分～16時30分 ⑪(土)日(祝)



天井が高く、明るい店内。福祉施設で作られた製品販売も

ジャム・クッキー製造



海老名産イチゴやトマトを使ったジャムなどの製造。注文販売のほか、はみんぐやPANBEENAでも販売

海老名市障がい者就労事業所 製品パンフレット
障がい者就労事業所の製品やサービスを掲載している冊子です。冊子は障がい福祉課で配布のほか市ホームページで確認できます。